

本総評は、令和 4（2022）年度後学期に実施した浦安キャンパスにおける「学生による授業評価アンケート実施結果」について、各学部学科及び教育センターによる集計結果分析に基づき、明らかになった課題及び今後の授業改善に向けた方策についてまとめたものである。

1 アンケート実施結果の概要

- (1) 実施期間 第 1 回：2022 年 10 月 10 日（月）から 10 月 22 日（土）まで
第 2 回：2022 年 12 月 12 日（月）から 12 月 24 日（土）まで
- (2) 実施対象 第 1 回：全教員、627 科目（ただしゼミの授業科目、履修者 5 名以下の授業科目及び再履修者のみが履修する授業科目は除く。また 1 教員あたり同一名称の授業科目が複数ある場合は、履修者最多の授業科目とする）
第 2 回：全教員、629 科目（ただしゼミの授業科目、履修者 5 名以下の授業科目及び再履修者のみが履修する授業科目は除く。また 1 教員あたり同一名称の授業科目が複数ある場合は、履修者最多の授業科目とする）
- (3) 調査方法 Web 入力方式（スマートフォンやパソコン等を利用して、アンケート実施期間中の任意の時間に Web ポータルシステムから回答する）
- (4) 評価方法 5 段階評価（5. 満足、4. やや満足、3. どちらともいえない、2. やや不満、1. 不満）
- (5) 質問項目 授業について 10 項目、その他（学生自身について、教室の設備・環境について）
- (6) 回答学生数 第 1 回：延べ 9,650 名（回答率 38.2%）
第 2 回：延べ 7,641 名（回答率 30.2%）
(注) 回答率＝有効回答者数÷履修登録者数

2 集計結果と分析

表 1・表 2 は各項目における評価の平均値を学科別に集計したものであり、これをレーダーチャートにしたのが図 1・図 2 である。

第 1 回、第 2 回ともすべての区分において質問項目の平均値が 4 点以上となっており、授業の質および自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。質問項目 10 番「この授業に対するあなたの満足度をお答えください。」に対する第 2 回の平均値は「特別科目」で 4.73、「日本語学科専門科目」「中国語学科専門科目」「HT 学科専門科目」「教職科目」でいずれも 4.5 を上回るなど、高い水準であることを示している。

1 回目のアンケート結果と 2 回目のアンケート結果は大きく異なるものではないが、同一科目区分の中で比較した場合、質問項目 3「教員の説明は分かりやすかったですか」、質問項目 5「授業の内容を自分なりに理解できましたか」、質問項目 10「この授業に対するあなたの満足度をお答えください」の各問について、14 区分中 9 区分においてポイントの上昇が見られており、学期中盤から後半にかけて、多くの科目区分においてさらに理解度や満足度が上昇したことがうかがえる。

科目区分別に質問項目ごとの推移を比較した場合、「中国語学科専門科目」「多言語コミュニケーション」においては、すべての質問項目においてポイントの上昇が見られ、「基礎教育」「人間力形成教育」「キャリア形成教育」「HT 学科」「口腔保健学科」「教職科目」についても 7 項目以上の質問項目でポイントの上昇が見られたのに対して、「外国語学部 GS 関連科目」「日本語学科」「英米語学科」「経済学科」「不動産

学科」においては、7項目以上の質問項目においてわずかながらポイントの低下が見られる。

この理由について、前半と後半とでポイントが上昇した科目については「授業改善を図った成果があらわれたため」と考えることもできるが、一方、低下した科目については「授業後半に向けて授業内容の難度が上がったため」などとも考えられるため、一概に「改善の成果」と結びつけることは出来ない。また、上記の分析の対象はあくまで科目区分全体の平均値のみであり、個々の授業の改善については別途考察が必要である。

表 1

2022年度後学期第1回 授業評価アンケート集計結果(科目区分別)																明海大学浦安キャンパスFD・SD委員会															
期間	No.	設問文	科目区分														教職科目	多言語コミュニケーション													
			全体	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科																
			対象科目数	22	45	23	12	33	31	98	37	103	48	77	26	19															
			25,293	621	3,019	1,087	236	1,503	1,149	2,407	572	5,210	3,664	2,815	951	628	1,431														
			9,650	278	1,087	687	146	604	398	1,110	379	1,376	1,129	1,046	610	203	597														
		平均時間〔各選択肢を0分、15分、45分、90分、150分、180分として算出した平均時間(分)〕	21.34	25.36	25.11	58.56	39.15	38.97	36.62	22.72	29.12	46.09	24.54	31.92	33.66	25.45															
A-2	1	板書(スクリーンの文字・画像等)・配布物は読みやすかったですか	4.58	4.42	4.43	4.76	4.45	4.61	4.44	4.59	4.47	4.32	4.62	4.37	4.63	4.51															
	2	教員の話し方(話すスピード等)は聞き取りやすかったですか	4.47	4.44	4.46	4.74	4.51	4.67	4.41	4.59	4.47	4.29	4.58	4.31	4.66	4.46															
	3	教員の説明は分かりやすかったですか	4.44	4.47	4.47	4.74	4.48	4.64	4.38	4.59	4.47	4.27	4.58	4.30	4.56	4.44															
	4	授業の進み具合はあなたにとって適切でしたか	4.48	4.46	4.41	4.74	4.48	4.65	4.43	4.53	4.46	4.26	4.58	4.27	4.57	4.48															
	5	授業の内容を自分なりに理解できましたか	4.32	4.35	4.32	4.62	4.37	4.51	4.31	4.50	4.34	4.16	4.47	4.14	4.48	4.35															
	6	教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか	4.48	4.54	4.55	4.66	4.51	4.69	4.49	4.67	4.50	4.36	4.68	4.41	4.61	4.50															
	7	教員の学生への対応(質問等)は適切でしたか	4.53	4.45	4.44	4.67	4.45	4.63	4.42	4.61	4.46	4.29	4.60	4.31	4.55	4.47															
	8	授業にふさわしい雰囲気(私語への対応等)ができていましたか	4.46	4.48	4.49	4.64	4.50	4.64	4.44	4.54	4.46	4.34	4.57	4.37	4.53	4.47															
	9	この授業で興味や関心が深まりましたか	4.16	4.35	4.19	4.62	4.38	4.49	4.32	4.46	4.36	4.16	4.49	4.14	4.46	4.34															
	A-3	10	この授業に対するあなたの満足度をお答えください。	4.42	4.45	4.30	4.69	4.41	4.57	4.37	4.54	4.43	4.22	4.56	4.22	4.54	4.45														

表 2

2022年度後学期第2回 授業評価アンケート集計結果(科目区分別)																明海大学浦安キャンパスFD・SD委員会															
期間	No.	設問文	科目区分														教職科目	多言語コミュニケーション													
			全体	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科																
			対象科目数	22	45	23	12	33	31	98	37	103	48	79	26	19															
			25,325	621	3,019	1,087	236	1,503	1,149	2,407	572	5,209	3,664	2,848	951	628	1,431														
			7,641	219	835	567	138	507	344	949	273	982	840	881	383	237	486														
		平均時間〔各選択肢を0分、15分、45分、90分、150分、180分として算出した平均時間(分)〕	28.2	27.84	31.43	51.18	40.62	36.93	37.53	25.11	32.99	46.99	27.73	30.78	39.40	28.95															
A-2	1	板書(スクリーンの文字・画像等)・配布物は読みやすかったですか	4.58	4.45	4.49	4.78	4.35	4.59	4.43	4.63	4.46	4.21	4.62	4.42	4.64	4.56															
	2	教員の話し方(話すスピード等)は聞き取りやすかったですか	4.57	4.48	4.53	4.76	4.43	4.59	4.41	4.60	4.46	4.20	4.64	4.46	4.66	4.54															
	3	教員の説明は分かりやすかったですか	4.49	4.48	4.48	4.79	4.38	4.56	4.35	4.63	4.45	4.16	4.64	4.39	4.57	4.52															
	4	授業の進み具合はあなたにとって適切でしたか	4.45	4.50	4.35	4.74	4.43	4.59	4.42	4.57	4.45	4.14	4.66	4.41	4.59	4.50															
	5	授業の内容を自分なりに理解できましたか	4.34	4.36	4.33	4.71	4.27	4.38	4.28	4.53	4.29	4.04	4.51	4.23	4.51	4.48															
	6	教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか	4.51	4.53	4.57	4.77	4.44	4.61	4.45	4.70	4.48	4.28	4.71	4.44	4.66	4.55															
	7	教員の学生への対応(質問等)は適切でしたか	4.55	4.44	4.51	4.75	4.38	4.54	4.41	4.67	4.47	4.19	4.63	4.37	4.61	4.49															
	8	授業にふさわしい雰囲気(私語への対応等)ができていましたか	4.44	4.45	4.49	4.72	4.38	4.56	4.43	4.56	4.46	4.30	4.56	4.34	4.59	4.48															
	9	この授業で興味や関心が深まりましたか	4.26	4.36	4.23	4.73	4.22	4.43	4.32	4.49	4.34	4.04	4.51	4.22	4.56	4.36															
	A-3	10	この授業に対するあなたの満足度をお答えください。	4.45	4.47	4.32	4.71	4.32	4.57	4.37	4.58	4.41	4.12	4.60	4.33	4.63	4.49														

図1 2022年度後学期1回目

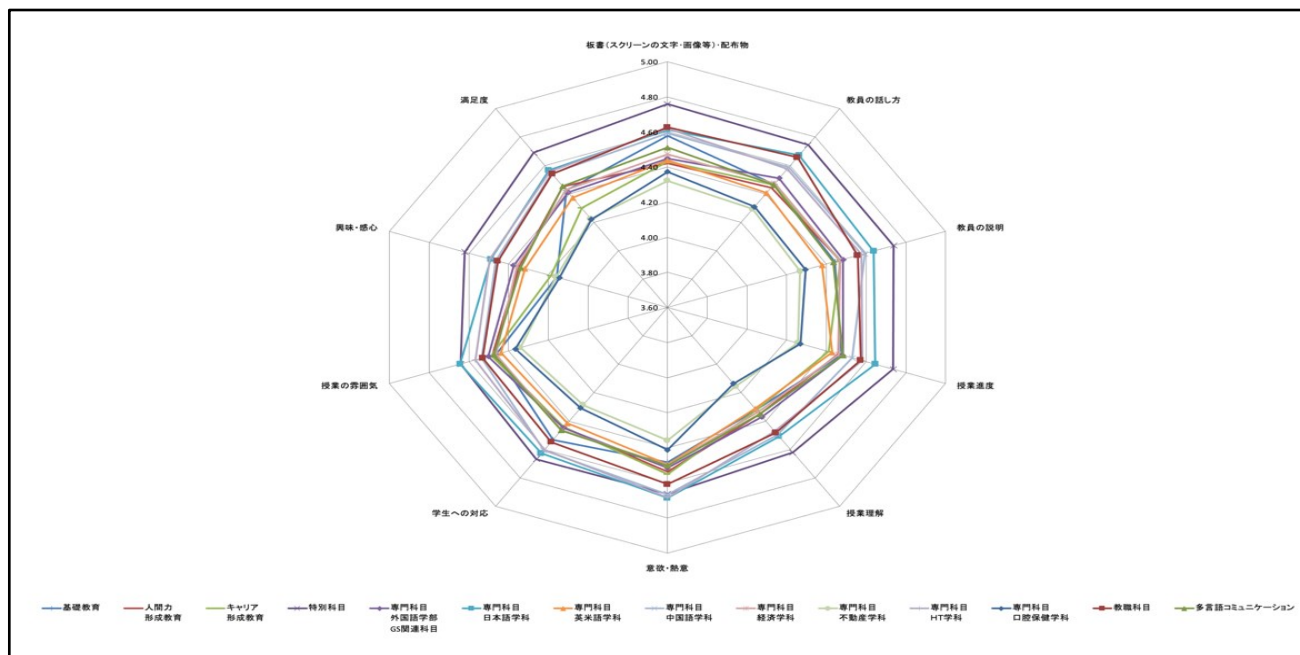
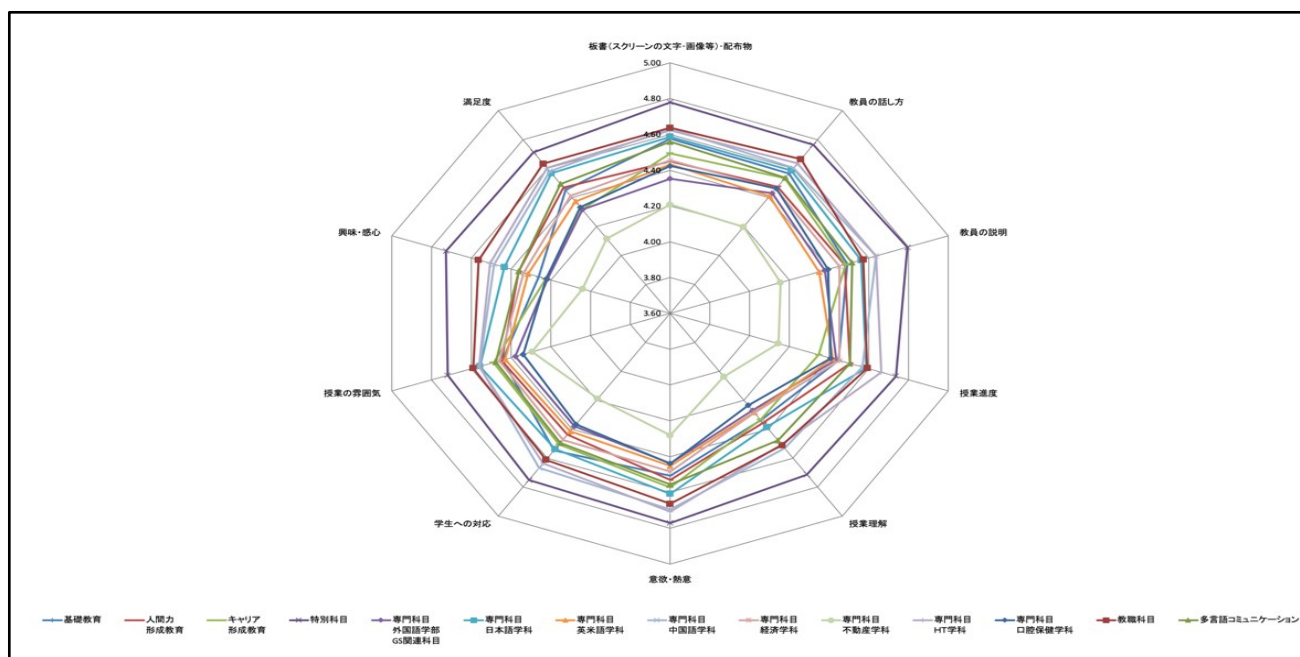


図2 2022年度後学期2回目



3 授業外学習時間について

表3は第2回アンケートにおける、各区分別の授業外学習平均時間である。長いものでも特別教育科目の51.18分、不動産学科専門科目の46.99分であり、他は総じて短く、単位の実質化に向けて課題となるところである。

表3

基礎教育	人間力 形成教育	キャリア 形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 OS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教職科目	多言語コミュニケーション
28.2	27.84	31.43	51.18	40.62	36.93	37.53	25.11	32.99	46.99	27.73	30.78	39.40	28.95

次の図3・図4はともに2020年度前学期から2022年度後学期までの授業外学習平均時間の推移を基礎教育科目(図3)と英米語学科の専門科目(図4)について作成したグラフである。

図3の基礎教育科目については、2020年度のコロナ禍において、約32分から52分と、比較的高い数値を示していたが、今期は約21分と約28分であり、短くなっている。

図4の英米語学科はコロナ禍において50分台で推移していたが、今期は37分程度となっている。このグラフよりさらに遡って2019年度の資料を見ると、2019年度の前期において、基礎科目の授業外学習平均時間は20.0分、英米語学科専門科目の授業外学習平均時間は36.7分であった。

ここでは例として基礎教育科目と英米語学科専門科目を取り上げたが、他の科目区分もほぼ同様に、2022年度の前学期・後学期のアンケート結果は、ほぼ横ばいで推移している。

このことから考えると、授業外学習時間の量はコロナ禍以前に戻ったという見方も出来るかもしれない。2020年度前学期から多くの授業で実施された遠隔授業においては、そもそも「授業内学習時間」と「授業外学習時間」の区別がつきにくかったという点もあるかもしれないが、少なくとも学生の実感としては1つの授業にかけた学習時間が長かったものと考えられる。2022年度前学期から全面的に対面授業が始まったことによって事前学修・事後学修の時間が相対的に減ったのだとすると、今後対面授業の前後でどのように課題を課すかを学習時間の量的向上を図るために検討しなくてはならない。

図3 授業外学習平均時間の推移(基礎教育科目)

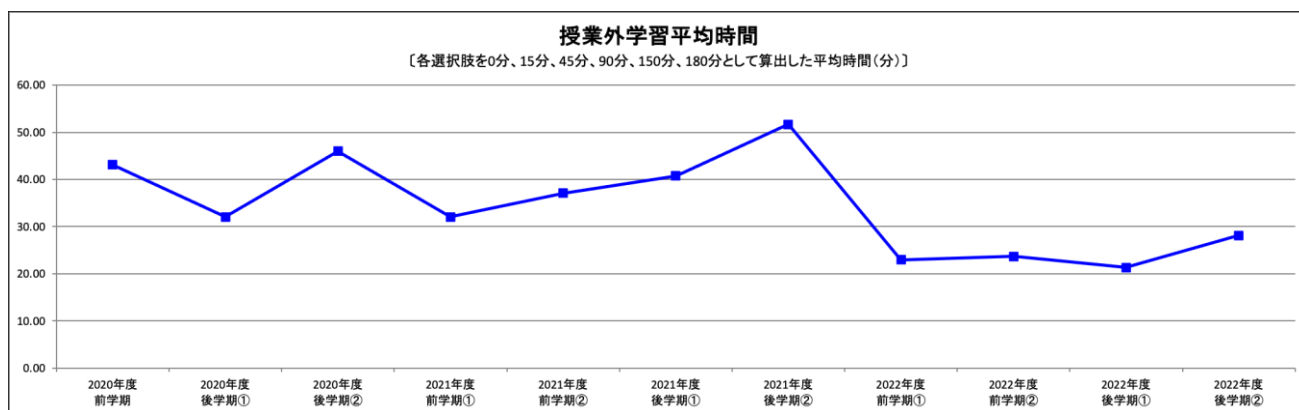
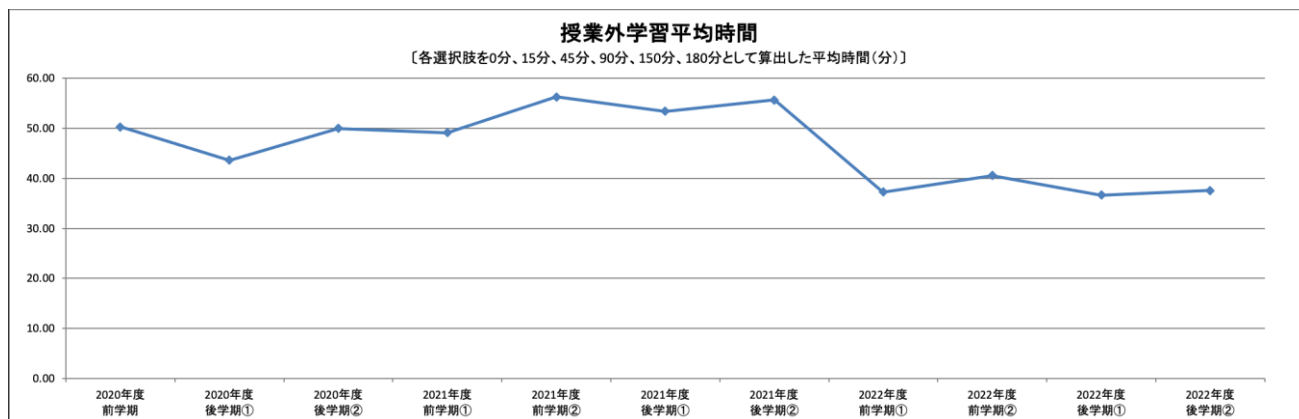


図4 授業外学習平均時間の推移(英米語学科専門科目)



4 アンケート結果からわかったことと課題

授業評価アンケート実施の集計結果と分析に基づいてわかったことと課題は次のとおりである。

1. 授業に対する評価は高い水準を示しており、授業に対する満足度や理解度は第 1 回アンケートより第 2 回アンケートの方が高い数値を示している科目区分が多いことから、授業が終わった時点で授業に対する満足感、理解できるようになったという達成感を多くの学生が持てるようになっていると考えられる。しかしながら、科目区分別に見た場合、必ずしも第 2 回目の方が第 1 回目よりも上昇しているとは言えない傾向も見られることから、平均値の推移を見るだけでなく、科目ごとに原因を解明し、改善を図るための方策を検討する必要があると考える。

2. 2019 年度後学期から、1 学期に 2 回のアンケートを実施しているが、各学期における 1 回目のアンケート結果を学期後半の授業運営の改善につなげるための工夫を組織的に行う必要があるとされている。前記 2 「集計結果と分析」の項で述べた通り、第 1 回のアンケート結果と第 2 回目のアンケート結果の科目区分ごとの平均値の推移を比較した場合、ポイントが上昇している科目区分とそうではない区分との違いが見られる。あくまで区分別の平均値であるから、個々の授業改善や学生にとっての学修成果の向上を図るためには、さらに詳細な分析と対策が必要になる。

そもそも、授業後半に進むにつれて授業内容が難しくなっていたために学生の理解が及ばず、授業自体がわかりにくく感じられるようになり、その結果授業に対する満足度が低下した、などという可能性も考慮すると、この数値を見るだけで「授業改善」がなされているかどうかを判断することは出来ないが、1 回目のアンケート結果を授業担当教員がどのように受け止めてそれを後半の授業にどのように活かしていくか、FD・SD 委員会を中心に、今後の課題として取り組んでいかななくてはならない。

授業担当者がアンケートの対象となるすべての授業について「現状の説明」と「課題及び改善点」を記しており、それを参照すると、第 1 回目のアンケート結果と第 2 回目のアンケート結果の違いに言及したり、第 1 回目のアンケート結果に基づいて改善を心がけた点について言及したりしているものが見られ、同じ学期で 2 回のアンケートを実施する目的が授業担当者に浸透しつつあることがわかるが、残念ながらそのような立場から記述している例は少数である。

アンケートを実施する段階で、第 1 回の結果を後半の授業に活かすよう授業担当者に呼びかけ、改善点の分析に反映させるように依頼するなど、FD・SD 委員会としても取り組んでいく必要がある。

3. 授業外学習時間を増やすことについては、単位の実質化という課題として取り組まなくてはならない問題である。2020 年度以降、コロナ禍における自宅学修が増えたこともあり、自主的な学修や自律的な学修が増えたことは事実である。学生の能動的な学修を推進するという意味において一つの契機になったとも考えられるが、2022 年度において全面的に対面授業が始まり、「授業外学習時間」が元にもどってしまわないように、manaba を使った反転流授業の推進を軸に、さまざまな形で学生が自主的に学修を進めていけるように、授業改善に努めていきたい。

4. 回答率について

今回の回答率は第 1 回が 38.2%、第 2 回が 30.2%と低く、前学期の第 1 回 52.7%、第 2 回 41.5%をさらに下回ってしまった。Web 入力方式による回答を徹底するための方策を講じる必要がある。